２０２０年

北海道地方　１１月の天候

２０２０年１２月１日
札幌管区気象台　気象防災部
地球環境・海洋課

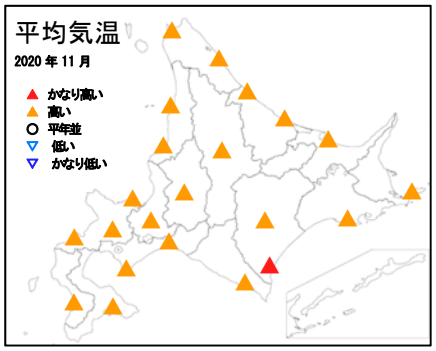
概況

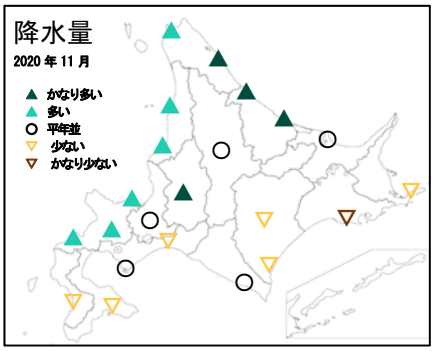
―― 寒気の影響を受けにくく高温。低気圧の影響で日本海側とオホーツク海側は多雨寡照。 ――

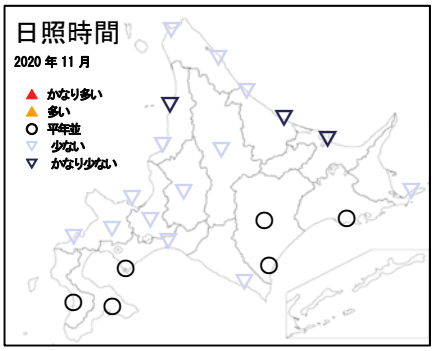
11 月上旬から中旬は低気圧や気圧の谷の影響を受けやすかったため、日本海側とオホーツク海側では雪または雨の降った日が多かった。また、冬型の気圧配置が弱く、寒気の影響を受けにくかったため、全道的に気温の高い日が多かった。19 日には低気圧と湿った気流の影響により日本海側で大雨となった所があった。下旬は低気圧や冬型の気圧配置の影響により、全道的に雪または雨の降った日が多かった。

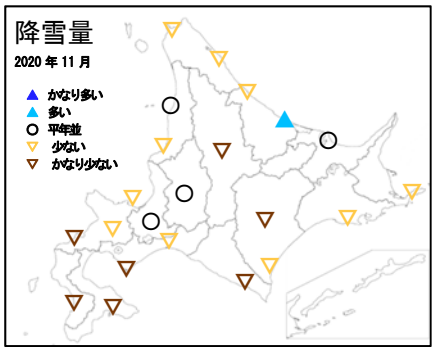
気温は上旬と中旬は高く、月平均気温も高かった。降水量は上旬と中旬は多かったが、下旬は少なく、月降水量は平年並だった。日照時間は下旬はかなり少なく、月間日照時間は少なかった。降雪量は上旬は多かったが、中旬は少なく、下旬はかなり少なく、月降雪量は少なかった。

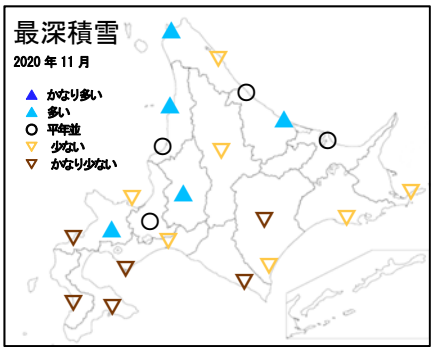
階級分布図











月の気候表

	気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	**+1.3**	**高**	**105**	**並**	**85**	**少**	**35**	**少**
日本海側	+1.4	高	118	多	78	少	47	少
オホーツク海側	+1.0	高	167	か多	79	か少	74	並
太平洋側	+1.4	高	58	か少	96	並	0	か少

注）・気候表の数値は、地域内の気象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点、北海道地方全体では計22地点）の観測値の平年差または平年比の平均を示す。
・「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の階級は、1981～2010 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が 10 個ずつになる）ように決めている。また、値が 1981～2010 年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表現する。

旬別の気候表

上旬	気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	**+1.3**	**高**	**136**	**多**	**91**	**並**	**236**	**多**
日本海側	+1.1	高	156	多	80	少	277	多
オホーツク海側	+1.5	高	189	多	97	並	252	多
太平洋側	+1.4	高	85	並	102	並	0	並

表の見方は月の気候表と同じ。

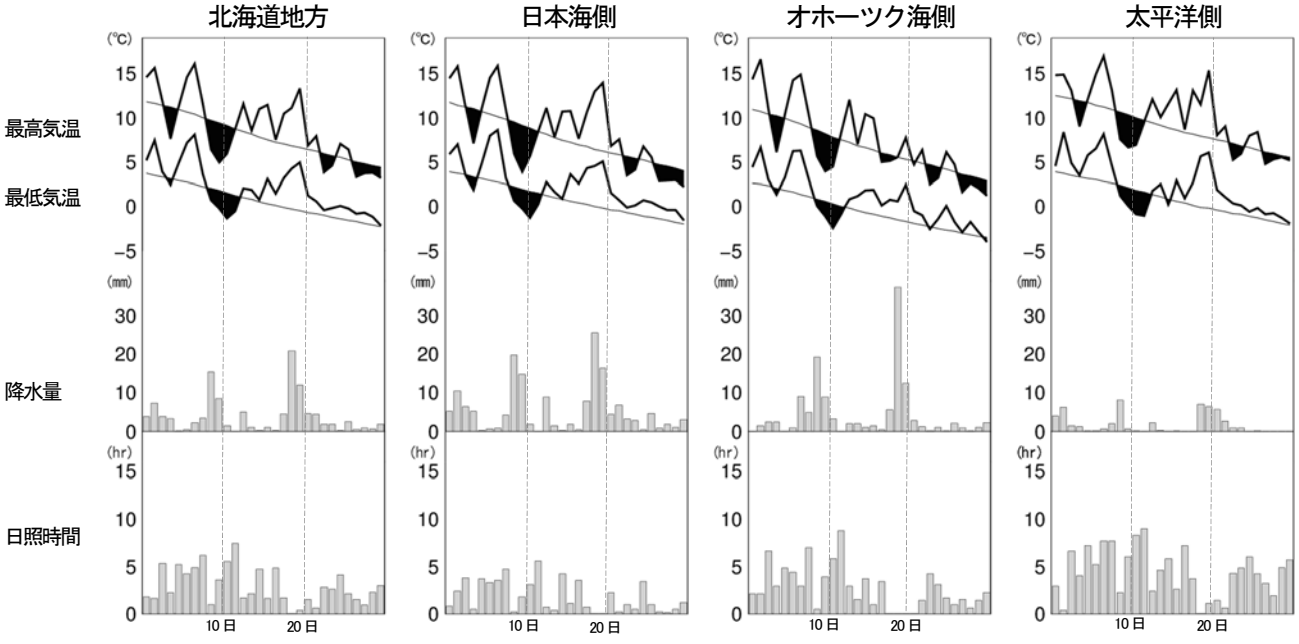
中旬	気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	**+2.4**	**高**	**127**	**多**	**96**	**並**	**12**	**少**
日本海側	+2.8	か高	131	多	95	並	8	か少
オホーツク海側	+1.7	高	254	か多	84	少	44	少
太平洋側	+2.4	か高	58	並	104	並	0	か少

表の見方は月の気候表と同じ。

下旬	気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	**+0.3**	**並**	**52**	**少**	**64**	**か少**	**23**	**か少**
日本海側	+0.4	並	68	少	55	か少	27	か少
オホーツク海側	0.0	並	46	少	52	か少	59	少
太平洋側	+0.4	並	35	少	81	か少	0	か少

表の見方は月の気候表と同じ。

気象経過図



日別の天気概況

上旬

1～2日：気圧の谷や寒冷前線の通過により、日本海側と太平洋側西部で雨が降った。

3～4日：太平洋側東部では晴れた所が多かったが、気圧の谷の通過とその後の冬型の気圧配置の影響で日本海側と太平洋側西部を中心に雨または雪の降った所が多かった。

5日：冬型の気圧配置の影響で日本海側では雨の降った所があったが、次第に高気圧の張り出しの中となって広い範囲で晴れた。

6日：高気圧の張り出しの中で晴れた所もあったが、気圧の谷の接近により雨の降った所があった。

7日：前線の通過により日本海側北部とオホーツク海側では雨の降った所が多かったが、太平洋側では晴れた所が多かった。

8日：日中は晴れた所が多かったが、低気圧の接近により広い範囲で雨または雪が降った。檜山地方では大荒れの天気となった所があった。

9日：低気圧の通過とその後の冬型の気圧配置の影響で全道的に雪または雨が降った。胆振地方と日高地方では大荒れの天気となった所があった。石狩市石狩で日降水量51.0mmなど。

10日：冬型の気圧配置の影響で日本海側とオホーツク海側では雪または雨の降った所が多く、太平洋側では晴れた所が多かった。岩見沢市5条で日降雪量39cmなど。

中旬

11日：はじめ冬型の気圧配置の影響で日本海側を中心に雪または雨が降ったが、次第に高気圧の張り出しの中となって広い範囲で晴れた。

12日：高気圧の張り出しの中で広い範囲で晴れた。

13日：前線を伴った低気圧の影響で全道的に雨または雪が降った。

14日：冬型の気圧配置の影響で日本海側北部を中心に雪または雨が降ったが、次第に高気圧の張り出しの中となって晴れた。

15日：高気圧に張り出しの中ではじめ晴れた所が多かったが、気圧の谷の接近により次第に曇って、日本海側北部では雨の降った所があった。

16日：気圧の谷の通過により概ね曇りで、日本海側とオホーツク海側を中心に雨または雪の降った所があった。

17日：冬型の気圧配置の影響で日本海側北部ではじめ雨の降った所もあったが、次第に高気圧の張り出しの中となって太平洋側を中心に晴れた。

18日：前線の影響で広い範囲で雨または雪が降ったが、太平洋側では晴れた所もあった。

19～20日：前線を伴った低気圧の影響で全道的に雨が降り、19日は後志地方で大雨となった所があった。19日に積丹町美国で日降水量104.0mm、20日に枝幸町歌登で日降水量54.0mmなど。

下旬

21日：気圧の谷の影響で広い範囲で雨または雪が降った。

22日：寒冷前線が通過した影響で、日本海側と太平洋側西部を中心に雨または雪が降った。

23日：気圧の谷の通過とその後の冬型の気圧配置の影響で広い範囲で雪または雨が降った。

24日：冬型の気圧配置の影響で日本海側を中心に雪または雨が降り、太平洋側東部では概ね晴れた。

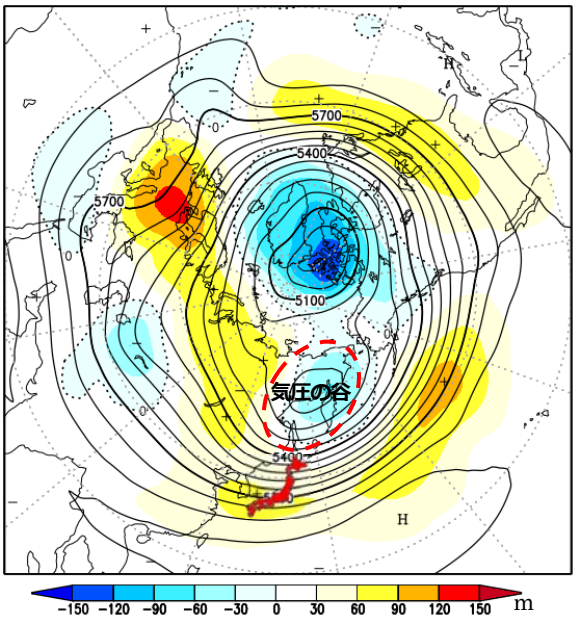
25日：気圧の谷の影響で雪または雨の降った所があったが、太平洋側では晴れた所が多かった。

26～27日：冬型の気圧配置の影響で日本海側を中心に雪または雨が降り、太平洋側東部では晴れた所が多かった。

28日：気圧の谷の影響で日本海側を中心に雪の降った所があった。

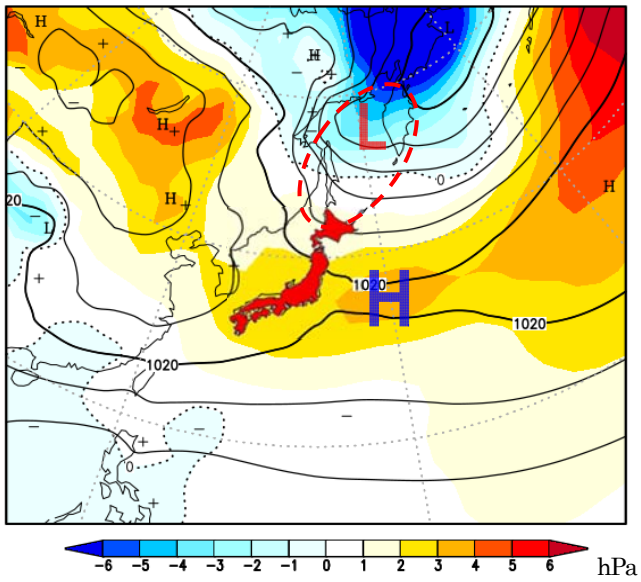
29～30日：冬型の気圧配置の影響で日本海側を中心に雪が降り、太平洋側東部では晴れた所が多かった。

11 月の大気の流れと地上天気図の特徴



北半球の月平均 500hPa 高度と平年偏差
（平年値は 1981～2010 年の平均値）

実線は 500hPa 高度（m）、点線は平年偏差（m）。平年偏差が暖（寒）色の領域は平年より高度が高（低）く、一般に暖（寒）気に覆われやすい。上空では、風は等高度線に沿って西から東に吹いている。等高度線が南北に波打っている所で偏西風が蛇行しており、等高度線の間隔が狭い所では偏西風が強い。



日本付近の月平均海面気圧と平年偏差
（平年値は 1981～2010 年の平均値）

実線は等圧線（hPa）、点線は平年偏差（hPa）。平年偏差の暖（寒）色は、平年より気圧が高（低）い領域。寒色の領域では、平年より気圧の谷や低気圧の影響を受けやすい。

500hPa（上空約 5500m）天気図

東シナ海から日本付近にかけて平年より高度が高く、日本付近は暖かい空気に覆われやすかった。オホーツク海付近は気圧の谷（赤点線）となりやすく、寒気の影響を受けた時期もあった。

地上天気図

東シナ海から日本の東にかけて帯状に気圧が高く、高気圧に覆われやすかった。北海道付近は、高気圧の周りを回って南から暖かい空気が入りやすかった。一方、カムチャツカ半島付近から北海道付近にかけて気圧の谷（赤点線）となっており、日本海側を中心に前線や気圧の谷の影響を受けやすかった。

地点別気候表

官署名	気温			降水量			日照時間			降雪量			最深積雪		
	本年 ℃	平年差 ℃	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級	本年 cm	平年値 cm	階級	本年 cm	平年値 cm	階級
稚 内	4.7	+1.1	(+)	140.0	116	(+)	39.1	68	(−)	33	53	(−)	26	15	(+)
北見枝幸	3.8	+1.1	(+)	180.0	141	(++)	67.5	81	(−)	33	79	(−)	15	26	(−)
羽 幌	5.6	+1.4	(+)	218.5	134	(+)	26.0	48	(−−)	44	58	(0)	28	18	(+)
雄 武	3.8	+1.2	(+)	129.0	186	(++)	79.2	78	(−)	16	42	(−)	10	12	(0)
留 萌	5.7	+1.4	(+)	173.0	120	(+)	27.8	53	(−)	17	47	(−)	12	15	(0)
旭 川	3.9	+2.0	(+)	125.0	107	(0)	56.8	89	(−)	39	107	(−−)	14	30	(−)
網 走	4.6	+0.9	(+)	61.0	102	(0)	93.3	77	(−−)	16	18	(0)	6	6	(0)
小 樽	6.1	+1.4	(+)	170.0)	116	(+)	71.3	87	(−)	17	45	(−)	7	15	(−)
札 幌	6.3	+1.4	(+)	113.0	109	(0)	84.0	84	(−)	19	32	(0)	7	12	(0)
岩見沢	4.8	+1.1	(+)	172.0	155	(++)	59.8	70	(−)	77	77	(0)	44	28	(+)
帯 広	4.5	+1.3	(+)	16.5	29	(−)	169.0)	101	(0)	−	9	(−−)	−	6	(−−)
釧 路	5.8	+1.5	(+)	8.5	13	(−−)	167.6	101	(0)	−	5	(−)	−	3	(−)
根 室	6.6	+1.3	(+)	55.5	66	(−)	134.8	92	(−)	−	5	(−)	−	2	(−)
寿 都	6.7	+1.4	(+)	164.0	115	(+)	51.7	93	(−)	3	33	(−−)	1	10	(−−)
室 蘭	7.6	+1.5	(+)	63.5	84	(0)	99.4	95	(0)	−	8	(−−)	−	3	(−−)
苫小牧	5.9	+1.2	(+)	64.5	78	(−)	114.0	88	(−)	−	4	(−)	−	3	(−)
浦 河	7.1	+1.2	(+)	75.0	93	(0)	115.7	95	(−)	−	6	(−−)	−	3	(−−)
江 差	8.4	+1.2	(+)	88.5	77	(−)	68.9	103	(0)	−	11	(−−)	−	4	(−−)
函 館	7.0	+1.3	(+)	68.5	63	(−)	102.7	94	(0)	−	27	(−−)	−	11	(−−)
倶知安	4.2	+1.4	(+)	228.0	129	(+)	56.4	85	(−)	61	105	(−)	44	36	(+)
紋 別	4.3	+0.9	(+)	133.5	237	(++)	85.5	79	(−−)	38	30	(+)	18	9	(+)
広 尾	6.4	+1.5	(++)	54.5	40	(−)	150.6	101	(0)	−	7	(−)	−	4	(−)

注）・階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、−は平年より低い(少ない)、−−は平年よりかなり低い(少ない)を示す。
・「) 」付きの値は欠測を含む。「] 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

月統計値の更新表（第３位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
11月	月降水量(多い)	第3位	紋別	133.5 mm	237 %	170.0 (1972)	1956
	月間日照時間(少ない)	第3位	羽幌	26.0 h	48 %	21.2 (1976)	1921

※データは速報値であり、後日変更される場合があります。

お問い合わせ先　　札幌管区気象台気象防災部　地球環境・海洋課
TEL　（０１１）６１１−６１７４